

岡山県の災害リスクといざという時の行動

3 テロ・武力攻撃など

テロ・武力攻撃から身を守る行動

正しい情報を把握し、冷静な行動を

武力攻撃やテロなどが迫り又は発生した地域には、市町村の防災行政無線や緊急速報メール等により注意を呼びかけます。こうした事態に遭遇した場合には、正しい情報を把握し、冷静に行動することが大切です。いざという時のために、日頃からどのように対応したらよいのか心得ておきましょう。



爆発が起こったら

- とっさに姿勢を低くし、身の安全を守りましょう。
- 周囲で物が落下している場合には、落下が止まるまで、頑丈なテーブルなどの下に身を隠しましょう。
- その後、爆発が起こった建物などからできる限り速やかに離れましょう。
- 警察や消防の指示に従って、落ち着いて行動しましょう。
- ラジオやテレビなどを通じて、行政機関からの情報収集に努めましょう。



火災が発生したら

- できる限り低い姿勢をとり、急いで建物から出ましょう。
- 口と鼻をハンカチなどで覆いましょう。



閉じ込められたら

- 明るくするためにライターなどで火をつけないようにしましょう。
- 動き回って粉じんをかき立てないようにしましょう。口と鼻をハンカチなどで覆いましょう。
- 自分の居場所をまわりに知らせるために、配管などを叩きましょう。
- 粉じんなどを吸い込む可能性があるので、大声を上げるのは最後の手段としましょう。



テロ攻撃からの避難

- 突発的に被害が発生することもあるため、攻撃当初は一旦屋内に避難し、その後、状況に応じ行政からの指示に従って適切に避難しましょう。



ミサイル攻撃からの避難

- 屋外にいる場合は、近くの堅ろうな建物の中や地下街などに避難しましょう。
- 建物がない場合は、物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守りましょう。
- 屋内にいる場合は、窓から離れるか、窓のない部屋に移動しましょう。



化学剤や生物剤攻撃からの避難

- 口と鼻をハンカチで覆いながら、現場から直ちに離れ、密閉性の高い部屋又は風上の高台などに避難しましょう。
- 屋内では、窓を閉め、目張りをして室内を密閉し、できるだけ窓のない中央の部屋に移動しましょう。
- 2階建て以上の建物であれば、なるべく上の階へ避難しましょう。
- 汚染された服、時計、コンタクトレンズなどは速やかに処分し、水と石けんで手、顔、体をよく洗いましょう。



核爆発や放射能汚染からの避難

- すぐに遮へい物の陰に身を隠しましょう。近隣に建物があればその中へ避難しましょう。
- 周辺に地下施設があれば地下へ移動しましょう。

